

12月 12日

クリスマスお話し会

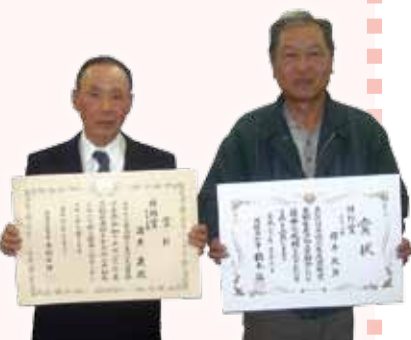


パネルシアターに見入る子どもたち

あじさい館において、読み聞かせグループ・石のスープの会による「クリスマスお話し会」が開かれました。パネルシアターの上映や、手作りのすいとんが振る舞われ、40人の子どもたちが楽しいひとときを過ごしました。

「くりの共励会」で上位入選 12月 11日

茨城県などが主催する「平成21年度くり生産力向上共励会」が開催され、酒井さんと櫻井さんが受賞されました。2人は、クリの樹へ日の光を取り込む栽培をするなど、おいしいクリ作りの実践が評価され受賞となりました。



▲左から
農林水産大臣賞：酒井康さん(尖倉)
茨城県知事賞：櫻井政男さん(中志筑)

12月 18日

「いちご狩り」がオープン



大きいイチゴを見つけて喜ぶ
さくら保育所の子供たち

千代田果樹観光協会主催の「いちご狩りオープン式」に、さくら保育所の子どもたち37人が招かれ、大関いちご園で、甘くて大きい「とちおとめ」の摘み取りを楽しみました。市内では、4件の農園で5月頃まで摘み取りできます。

公共交通で意見交換会 12月 13日

市地域公共交通会議では、総合連携計画策定に伴い、市民意見交換会を開催しました。参加者からは、「ミニバイパスや乗り合いタクシーの課題と改善策が挙げられ、実効性の高い公共交通体系の方向性を共通認識しました。」



千代田庁舎とあじさい館それぞれで地図を囲みながら意見を交換(写真はあじさい館会場)

善意に心から感謝を申し上げます。



東京電力(株)土浦支社から
防犯灯目録の贈呈

■東京電力株式会社様
防犯灯15基(12月16日)
↓市民の安全と防犯対策のため設置させていただきます。



■東京製綱株式会社様
トレーニング器具一式(11月2日)
↓働く女性の家に設置し、市民の健康増進のため利用させていただきます。



■かすみがうら市危険物安全協会様
テント天幕2枚(10月2日)
↓消防本部に配置し、イベントなどに使用させていただきます。

昨年4月から12月までに、市へ寄贈いただいた物品を紹介します。

街のわだい TOWNS★TOPICS

10月～

「かすみがうら市ブランド豚」に向け挑戦中!

クリ豚 イモ豚 レンコン豚



11月27日にあじさい館で行われた
レンコン豚の試食会の様子

かすみがうら市畜産協会養豚部(山崎裕司部会長)では、かすみがうら市産の農作物を使用した飼料によって育てられた豚をブランド豚として付加価値を付けて販売する研究をスタートさせました。

取り組みは、成体70キログラムになった豚にクリ・イモ・レンコンをそれぞれ通常飼料の15パーセントの割合で与えるというもので、10月から育成してきました。出来上がった豚肉は、県や市の畜産関係者や市民団体などを招いて試食会を開催。肉の味が一番分かりやすいしゃぶしゃぶで、一般的な豚肉と食べ比べを行いました。試食した参加者からは、「肉の見た目がきれい」「見た目と味のイメージはどうか」などの意見が交わされました。また、今後はベーコンなどの加工品も研究しながら、実用化につなげていきます。

まだ試験段階ですが、農作物販売規格外のものを使用するため、「コストダウンというメリットがあります。同部会では、「夢ある豚肉生産と有利販売につながるブランド豚づくりに挑戦してみます」と、意欲を見せていました。

12月 10日

非行防止のキャンペーン



子どもを守る母の会、土浦警察署、市内の中学校・高校の先生など15人が参加し、約600のメッセージを配布

神立駅前子どもを守る母の会などによる非行防止キャンペーンが行われました。「家族を悲しませないように」といった市内の小・中学生が書いたメッセージを帰宅途中の高校生らに配布し、非行防止を呼びかけました。

市の幕末群像展

12月 5日



桜田門外の変で使用される予定であった水戸藩郷士の太宰清右衛門の肌着などを展示

郷土資料館で、特別展「かすみがうら市の幕末群像」が、水戸開藩400周年に併せ、12月5日にスタート。市内出身の、天狗党総裁や新撰組参謀など歴史上の人物から、幕末を身近に感じることが出来ます。2月7日まで。